

第80回国民スポーツ大会剣道競技成年（男子・女子）代表選手県予選会要項

- 1 日 時 令和8年5月10日（日） 午前8時30分～9時00分 受付
8時30分～9時15分 竹刀計量
9時15分～ 抽選
9時30分 開会
- 2 場 所 熊本武道館
熊本市中央区水前寺5-23-2
電話096-381-8998（熊本県剣道連盟）
- 3 主 催 一般財団法人熊本県剣道連盟
- 4 参加資格 (1) 令和8度の熊本県剣道連盟の年会費を納入し、登録会員であること
(2) 全日本剣道連盟登録者規程に適合している男女
(注) 成年男子及び成年女子の監督は、選手が兼ねる。
(3) 成年男子
先鋒 2001（平成13）年4月2日以降～2008（平成20）年4月1日までに生まれた者 ※18歳以上25歳未満
次鋒 1991（平成3）年4月2日以降～2001（平成13）年4月1日までに生まれた者 ※25歳以上35歳未満
中堅 1981（昭和56）年4月2日以降～1991（平成3）年4月1日までに生まれた者 ※35歳以上45歳未満
副将 1971（昭和46）年4月2日以降～1981（昭和56）年4月1日までに生まれた者 ※45歳以上55歳未満
大将 1971（昭和46）年4月1日以前に生まれた者で、日本スポーツ協会公認指導員資格取得者の中から、県剣道連盟が選手選考委員会で選考する。 ※55歳以上
(4) 成年女子
先鋒 1996（平成8）年4月2日以降～2008（平成20）年4月1日までに生まれた者 ※18歳以上30歳未満
中堅 1986（昭和61）年4月2日以降～1996（平成8）年4月1日までに生まれた者 ※30歳以上40歳未満
大将 1986（昭和61）年4月1日以前に生まれた者で、日本スポーツ協会公認指導員資格取得者の中から、県剣道連盟が選手選考委員会で選考する。 ※40歳以上

(注) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認剣道コーチ1、公認剣道コーチ2のいずれかの資格を有する者。

- 5 試合方法
- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則・同細則および大会要項による。
 - (2) 出場者6人以上はトーナメントとし、5人以下の場合はリーグ戦とする。
 - (3) トーナメント、リーグ戦とも試合は3本勝負とし、試合時間は男子5分、女子4分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行い、先に1本を取った者を勝ちとする。なお、延長戦に入ってからからの試合時間は3分区切りで、勝敗の決するまで継続する。
 - (4) リーグ戦の順位決定については、次の順により順位決定する。
 - ① 勝ち数の多い者
 - ② 総本数の多い者
 - ③ ①から②が同数の場合は、取られた本数の少ない者
 - ④ ①から③が全て同数の場合は、決定戦を行う決定戦は、1本勝負とし、試合時間は男子5分、女子4分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行う。なお、延長に入ってからからの試合時間は3分区切りで、勝敗の決するまで継続する。
 - (5) 大将以外の各種別は優勝者を代表選手とし、2位の者を補員とする。

6 剣道用具の取り扱いについて

本予選会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。

- (1) 出場選手は、大会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。(11「安全管理」参照)
- (2) 竹刀については次の事項を遵守すること。計量・検査を必ず受けること。(検査本数は、3本までとする)
 - 竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径および先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2および図のとおりとする。
 - ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (3) 小手については次の事項を遵守すること。
 - 小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
 - 小手ぶとん部のえりぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (4) 面については次の事項を遵守すること。
 - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (5) 剣道着については次の事項を遵守すること。
 - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

7 竹刀の計量、検査について

表 1

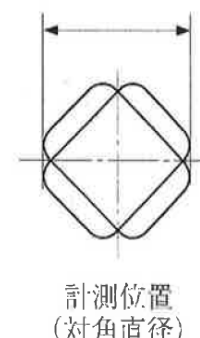
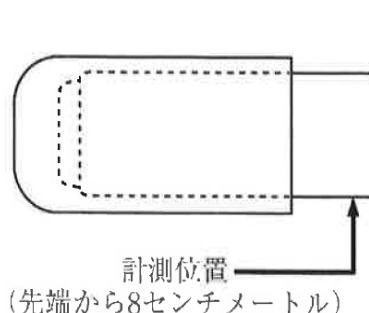
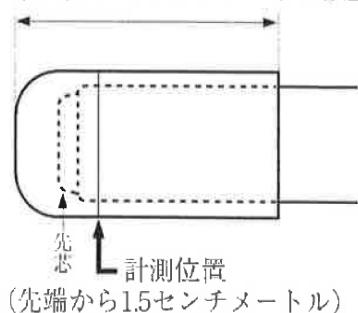
区分	長さ（全長）	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
男子	120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上
女子	120センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
ただし、二刀の場合は、				
男子	大刀は114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
女子	大刀は114センチメートル以下	400グラム以上	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
男子	小刀は62センチメートル以下	280～300グラム	24ミリメートル以上	20ミリメートル以上
女子	小刀は62センチメートル以下	250～280グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

表 2

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

<ちくとうの最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



8 組合せ 受付終了後に抽選を行う

9 参加料 1,500円（1日傷害保険料含む）

10 申込方法 出場希望者は、所定の申込書に記入し、参加料を添えて所属加盟団体事務局へ申し込むこと。加盟団体事務局は出場者をとりまとめのうえ、県剣連事務局へ提出すること。

申込締切日 加盟団体事務局 令和8年4月24日（金）期限厳守
熊本県剣道連盟 令和8年4月30日（木）期限厳守

※ 締切後は、一切受付ないので注意すること

11 安全管理 出場者は、各自十分健康管理に留意して予選会に出場すること。
出場者は、予選会での使用用具を事前に確認し、別紙「剣道用具確認証」を、竹刀計量・検査時に提出すること。
出場者には主催者側で1日傷害保険に加入するが、傷害等発生の場合は当連盟が加入している保険の範囲内で対応する。

12 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報（称号・段位、漢字氏名、カナ氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等）は、熊本県剣道連盟が実施する本予選会運営のために利用する。

なお、氏名、年齢、所属等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせて公表媒体（掲示用紙、ホームページ等）に公表することがある。

更に剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

13 その他

- (1) 申込期限、受付時間は厳守すること。
- (2) 予選会当日、受付時間終了までに受付をしなかった者は棄権したものとみなす。
- (3) 予選会出場者は、予選会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認票」を提出すること。
- (4) 選手は、全日本剣道連盟「感染症予防ガイドライン」（全剣連ガイドライン）に従う。面をつけて剣道を行う際には、飛沫防止等のため、口の部分を覆うシールドもしくは、面マスクを着用する。
- (5) 感染状況により、中止する場合もある。
- (6) 応援者の入館を認めるが、検温、手指の消毒は必ず行うこと。
- (7) 剣道場内での写真及び動画の撮影は、係員以外は禁止する。
- (8) 県外の大学から参加する出場者は印鑑を持参すること。